

群馬県公共施設等総合管理計画 新旧対照表

第3章 公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本的な方針

3 取組方針

計画的な保全による長寿命化の推進

17～18ページ

改定後	改定前
<p>(3) 維持管理・修繕・更新等の実施方針 公共施設等の計画的な保全を推進するため、施設台帳の整備を進めるとともに、施設特性に応じて、予防保全、事後保全等の手法を適切に使い分け、対策の優先度に基づき長期保全計画や維持管理計画の作成、長寿命化計画の策定を行います。これらの計画に基づく保全措置により、従来の平均的な更新周期を延伸することで中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を目指します。</p> <p>また、老朽化状況のほか、果たしている役割、機能、利用状況等を踏まえ、更新等が必要と判断される施設については、施設特性に応じて、民間資金等を活用した整備手法も検討するなど、効率的・効果的な更新を進めます。</p> <p>【主な取組内容】</p> <p><input type="checkbox"/> 予防保全の実施 日常の維持管理にあたっては、劣化の有無や兆候を可能な限り確認又は予測し、施設特性や安全性・経済性を考慮しつつ、予防保全による性能等の保持・回復を図ります。</p> <p><input type="checkbox"/> 長期保全計画の作成 計画的な保全を実施する必要がある施設については、劣化調査等の結果を踏まえ、一定の性能水準を維持するための長期保全計画を作成します。</p> <p><input type="checkbox"/> 長寿命化計画の策定 最も効率的・効果的な施設群の単位（分野別・類型別）で長寿命化計画を策定し、計画的な保全を推進します。計画の実施にあたっては、重要性・緊急性を判断して優先度や実施時期を決めるとともに、トータルコストが最小になるよう様々な材料・工法を比較して最良な方法を選択した上で、必要に応じて効果を検証し計画の見直しを行います。</p> <p><input type="checkbox"/> ニーズの変化への対応 更新等の機会には、その施設の役割や機能を再確認し、その時点で要求される機能・サービス水準での更新や多機能化・複合化、転用、廃止・撤去等を検討します。</p> <p><input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン化の推進 改修及び更新にあたっては、ユニバーサルデザイン（※8）の考え方に基づき、高齢者や障害者をはじめ、全ての利用者にとって利用しやすい施設づくりを推進します。</p> <p><input type="checkbox"/> 民間活力の活用 更新等に際しては、民間のノウハウ、資金等を活用することが、サービスの充実・向上、更新費用や管理運営経費の縮減などの観点から、有効な場合も考えられることから、PFI（※9）をはじめ、その他民間と連携する方法も選択肢の一つとして検討します。</p>	<p>(3) 維持管理・修繕・更新等の実施方針 公共施設等の計画的な保全を推進するため、施設台帳の整備を進めるとともに、施設特性に応じて、予防保全、事後保全等の手法を適切に使い分け、対策の優先度に基づき長期保全計画や維持管理計画の作成、長寿命化計画の策定を行います。これらの計画に基づく保全措置により、従来の平均的な更新周期を延伸することで中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を目指します。</p> <p>また、老朽化状況のほか、果たしている役割、機能、利用状況等を踏まえ、更新等が必要と判断される施設については、施設特性に応じて、民間資金等を活用した整備手法も検討するなど、効率的・効果的な更新を進めます。</p> <p>【主な取組内容】</p> <p><input type="checkbox"/> 予防保全の実施 日常の維持管理にあたっては、劣化の有無や兆候を可能な限り確認又は予測し、施設特性や安全性・経済性を考慮しつつ、予防保全による性能等の保持・回復を図ります。</p> <p><input type="checkbox"/> 長期保全計画の作成 計画的な保全を実施する必要がある施設については、劣化調査等の結果を踏まえ、一定の性能水準を維持するための長期保全計画を作成します。</p> <p><input type="checkbox"/> 長寿命化計画の策定 最も効率的・効果的な施設群の単位（分野別・類型別）で長寿命化計画を策定し、計画的な保全を推進します。計画の実施にあたっては、重要性・緊急性を判断して優先度や実施時期を決めるとともに、トータルコストが最小になるよう様々な材料・工法を比較して最良な方法を選択した上で、必要に応じて効果を検証し計画の見直しを行います。</p> <p><input type="checkbox"/> ニーズの変化への対応 更新等の機会には、その施設の役割や機能を再確認し、その時点で要求される機能・サービス水準での更新や多機能化・複合化、転用、廃止・撤去等を検討します。</p> <p><input type="checkbox"/> 民間活力の活用 更新等に際しては、民間のノウハウ、資金等を活用することが、サービスの充実・向上、更新費用や管理運営経費の縮減などの観点から、有効な場合も考えられることから、PFI（※8）をはじめ、その他民間と連携する方法も選択肢の一つとして検討します。</p>

欄外注釈

18 ページ

改定後	改定前
<p>(※8) <u>「ユニバーサルデザイン」とは、性別・年齢・身体能力・国籍等に関わらず全ての人が利用しやすいデザインをいう。</u></p> <p>(※9) 「PFI」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法をいう。</p>	<p>(※8) 「PFI」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法をいう。</p>

※ 以降の注釈番号を1ずつ繰下げ。